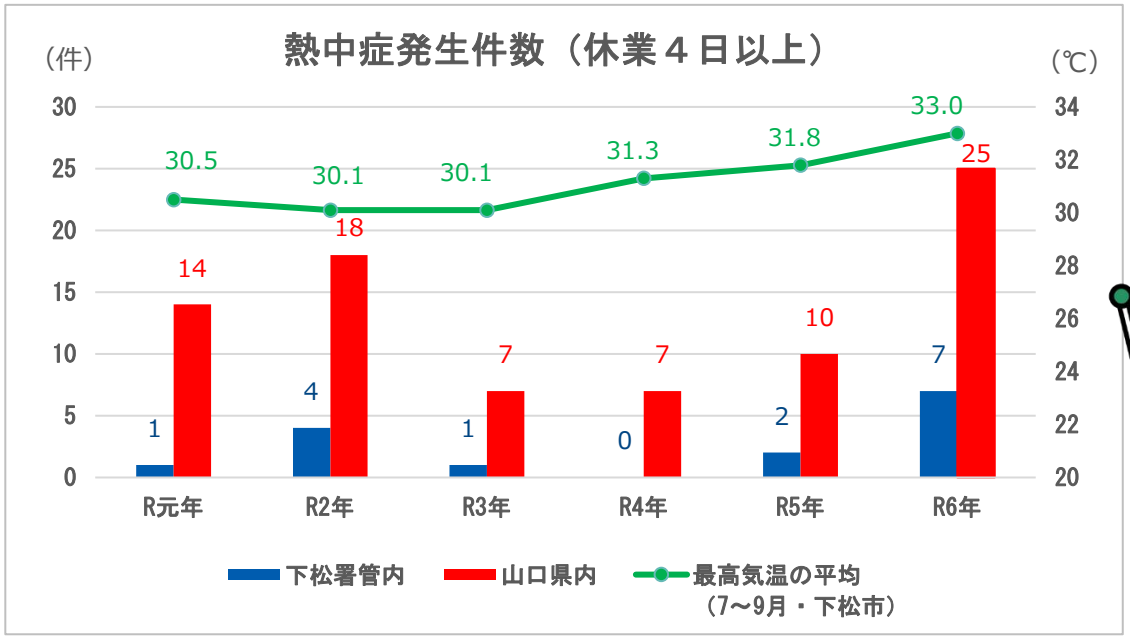
今夏も防げ 熱中症！！（STOP！熱中症）

令和６年の山口県内の熱中症の発生件数（休業４日以上）は前年と比べ急増（２.５倍）しています。また、休憩中や帰宅後に悪化するケースが散見されます。

そのうち死亡災害は１件となり、２年連続して発生しています。全国的にも３０件程度で横ばい状態となっています。

早期の治療により症状の回復が早まる傾向にあることから、少しでも体に異変を感じた時は、ためらわず、病院にかかりましょう！



１　令和６年の山口県内での熱中症（休業４日以上）の発生事例

発生月		時刻	業種	症状の様子	年齢	休業
1	７月	17時台	製造業	作業終了後、意識喪失	70代	30日
2		11時台	警備業	工事現場で作業中、体調不良	70代	４日
3		16時台	建設業	工事現場で作業中、体調不良のため休憩中に意識障害	20代	８日
4		12時台	製造業	屋外作業中（カッパ着用）、手足のしびれ	50代	７日
5		12時台	農業	農作業中、足を攣るが作業継続、帰宅後痙攣	20代	12日
6	8月	14時台	運送業	倉庫内でフォークリフト運転中、意識喪失	60代	７日
7		18時台	製造業	勤務終了後、帰宅中に意識喪失	60代	死亡
8		17時台	運送業	屋外作業中、足のしびれ、帰宅後倒れる	30代	10日
9		16時台	貨物取扱業	屋外作業を終えたところ、意識朦朧、帰宅後発熱	20代	４日
10	９月	17時台	建設業	屋外作業中、めまいにより転倒	50代	７日

下松労働基準監督署（R7.4）

暑さ指数（WBGT値）を参考に！！

作業場所における熱中症のリスクについては暑さ指数（WBGT）を活用しましょう！

※暑さ指数：気温、湿度、風速、輻射熱（放射熱）、身体作業強度、作業服の熱特性を考慮したもの

実測が出来ない場合は「その地域を代表する一般的な暑さ指数」を参考に判断することも有効です。

把握したWBGT値が作業内容ごとに定められた基準値を越える場合には、WBGT値の低減、身体作業強度の低い作業への変更などの熱中症予防対策を行いましょう。

区分	身体作業強度の例	暑さ指数	
		熱に順化している人	熱に順化していない人
0 安静	・安静　・楽な座位	33℃	32℃
1 低代謝率	・軽い手作業（書く、タイピング、描く、縫う、簿記） ・手及び腕の作業（小さいペンチツール、点検、組立て又は軽い材料の区分け） ・腕及び脚の作業（通常の状態での乗り物の運転、フットスイッチ及びペダルの操作） ・立位でドリル作業（小さい部品）　・フライス盤（小さい部品）　・コイル巻き ・小さい電機子巻き　・小さい力で駆動する機械 ・2.5km/h以下での平たんな場所での歩き	30℃	29℃
2 中程度代謝率	・継続的な手及び腕の作業［くぎ（釘）打ち、盛土］ ・腕及び脚の作業（トラックのオフロード運転、トラクター及び建設車両） ・腕と胴体の作業（空気圧ハンマーでの作業、トラクター組立て、しっくい塗り、中くらいの重さの材料を断続的に持つ作業、草むしり、除草、果物及び野菜の収穫） ・軽量な荷車及び手押し車を押したり引いたりする ・2.5km/h～5.5km/hでの平たんな場所での歩き　・鍛造	28℃	26℃
3 高代謝率	・強度の腕及び胴体の作業　・重量物の運搬　・ショベル作業　・ハンマー作業 ・のこぎり作業　・硬い木へのかんな掛け又はのみ作業　・草刈り　・掘る ・5.5km/h～7km/hでの平たんな場所での歩き ・重量物の荷車及び手押し車を押したり引いたりする　・鋳物を削る ・コンクリートブロックを積む	26℃	23℃
4 極高代謝率	・最大速度の速さでのとても激しい活動　・おの（斧）を振るう ・激しくシャベルを使ったり掘ったりする　・階段を昇る ・平たんな場所で走る　・7km/h以上で平たんな場所を歩く	25℃	20℃

注）暑熱順化者とは、「評価期間の少なくとも１週間以前から同様の全労働期間、高温作業条件（又は類似若しくはそれ以上の極端な条件）にばく露された人」をいう。

「職場における熱中症予防情報」
暑さ指数
職場での熱中症対策
については

https://neccyusho.mhlw.go.jp

「環境省　熱中症予防情報サイト」
熱中症アラート
一般的な暑さ指数
については

https://www.wbgt.env.go.jp